



平成19年3月期 第1四半期財務・業績の概況(連結)

平成18年7月25日

上場会社名 株式会社 青森銀行

上場取引所 東証第一部

コード番号 8342

本社所在都道府県 青森県

(URL <http://www.a-bank.jp/>)

代表者 取締役頭取 井畑 明男

問合せ先責任者 取締役総合企画部長 浜谷 哲

TEL (017) 777 - 1111

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無：有（内容は5頁に記載しております。）
- (2) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無：無
- (3) 連結及び持分法の適用範囲の異動の状況：無

2. 平成19年3月期第1四半期財務・業績の概況(平成18年4月1日～平成18年6月30日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	経常収益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第1四半期	14,273	( 4.2 )	2,212	( 20.8 )	1,214	( 22.3 )
18年3月期第1四半期	14,896	( 0.4 )	2,793	( 10.8 )	1,562	( 10.9 )
(参考)18年3月期	61,386		8,508		4,224	

	1株当たり 四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年3月期第1四半期	6	71		
18年3月期第1四半期	8	58		
(参考)18年3月期	23	09		

(注)経常収益、経常利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第1四半期	2,209,163	86,817	3.8	462 66
18年3月期第1四半期	2,227,889	86,295	3.9	474 91
(参考)18年3月期	2,158,627	85,674	4.0	472 95

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計 - 期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除した比率であり、「銀行法第14条の2の規定に基づき自己資本比率の基準を定める件」(平成5年3月31日付大蔵省告示第55号)に基づいて算出する連結自己資本比率ではありません。

3. 平成19年3月期の連結業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

下記の通り、平成18年5月26日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

(参考)

	経常収益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	29,000	4,400	2,300
通期	59,000	8,100	4,400

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 24円 30銭

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

## 比較四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当四半期末 (平成19年3月期 第1四半期末) (A)	前年同四半期末 (平成18年3月期 第1四半期末) (B)	比 較 (A) - (B)	(参考) 平成18年3月期末 (C)	比 較 (A) - (C)
(資産の部)					
現金預け金	88,329	58,227	30,102	46,687	41,642
コールローン及び買入手形	123,029	137,455	14,426	60,000	63,029
買入先勘定	19,995	49,999	30,004	-	19,995
買入金銭債権	7,626	8,500	874	8,239	613
商品有価証券	649	581	68	581	68
金銭の信託	21	-	21	-	21
有価証券	608,006	616,023	8,017	597,570	10,436
貸出金	1,259,830	1,263,065	3,235	1,346,296	86,466
外国為替	1,440	800	640	1,332	108
その他資産	28,347	29,956	1,609	32,687	4,340
不動産	-	46,068	-	45,621	-
有形固定資産	45,015	-	-	-	-
無形固定資産	4,744	-	-	-	-
繰延税金資産	12,944	10,778	2,166	11,126	1,818
支払引当金	34,274	33,599	675	33,113	1,161
貸倒引当金	25,094	27,167	2,073	24,629	465
資産の部合計	2,209,163	2,227,889	18,726	2,158,627	50,536
(負債の部)					
預渡性預金	1,931,653	1,953,583	21,930	1,907,498	24,155
譲渡性預金	74,400	71,580	2,820	68,060	6,340
コールマネー及び売渡手形	10,947	26,439	15,492	11,747	800
債券貸借取引受入担保金	1,322	5,392	4,070	1,381	59
借入金	27,101	26,948	153	27,880	779
外国為替	22	30	8	12	10
社外債	20,000	-	20,000	-	20,000
その他負債	18,210	15,434	2,776	14,690	3,520
賞与引当金	17	17	0	737	720
退職給付引当金	1,482	2,657	1,175	1,781	299
再評価に係る繰延税金負債	2,913	2,982	69	2,913	0
支払引当金	34,274	33,599	675	33,113	1,161
負債の部合計	2,122,346	2,138,666	16,320	2,069,816	52,530
(少数株主持分)					
少数株主持分	-	2,927	-	3,137	-
(資本の部)					
資本金	-	15,221	-	15,221	-
資本剰余金	-	8,575	-	8,576	-
利益剰余金	-	51,386	-	52,663	-
土地再評価差額金	-	2,395	-	2,452	-
その他有価証券評価差額金	-	9,545	-	7,009	-
自己株式	-	829	-	248	-
資本の部合計	-	86,295	-	85,674	-
負債、少数株主持分及び資本の部合計	-	2,227,889	-	2,158,627	-
(純資産の部)					
資本金	15,221	-	-	-	-
資本剰余金	8,576	-	-	-	-
利益剰余金	53,403	-	-	-	-
自己株式	351	-	-	-	-
株主資本合計	76,850	-	-	-	-
その他有価証券評価差額金	4,378	-	-	-	-
土地再評価差額金	2,452	-	-	-	-
評価・換算差額等合計	6,831	-	-	-	-
少数株主持分	3,135	-	-	-	-
純資産の部合計	86,817	-	-	-	-
負債及び純資産の部合計	2,209,163	-	-	-	-

## 比較四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第1四半期) (A)	前年同四半期 (平成18年3月期 第1四半期) (B)	比 較 (A) - (B)	( 参 考 ) 平成18年3月期 ( 要 約 )
経 常 収 益	14,273	14,896	623	61,386
資 金 運 用 収 益	8,966	9,256	290	36,925
(うち貸出金利息)	( 6,763 )	( 7,041 )	( 278 )	( 28,011 )
(うち有価証券利息配当金)	( 1,964 )	( 1,887 )	( 77 )	( 7,264 )
役 務 取 引 等 収 益	1,436	1,343	93	5,493
そ の 他 業 務 収 益	55	438	383	576
そ の 他 経 常 収 益	3,814	3,858	44	18,391
経 常 費 用	12,061	12,103	42	52,878
資 金 調 達 費 用	684	788	104	3,439
(うち預金利息)	( 168 )	( 163 )	( 5 )	( 660 )
役 務 取 引 等 費 用	503	497	6	2,039
そ の 他 業 務 費 用	136	73	63	328
営 業 経 費	6,444	6,472	28	25,449
そ の 他 経 常 費 用	4,292	4,271	21	21,621
経 常 利 益	2,212	2,793	581	8,508
特 別 利 益	7	31	24	57
特 別 損 失	61	0	61	596
税金等調整前四半期(当期)純利益	2,158	2,824	666	7,970
法人税、住民税及び事業税	-	-	-	2,194
法人税等調整額	-	-	-	1,302
税金費用	911	1,178	267	-
少数株主利益	32	83	51	247
四半期(当期)純利益	1,214	1,562	348	4,224

## 四半期連結株主資本等変動計算書

当四半期(自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 6 月 30 日)

(単位:百万円)

	株 主 資 本					評価・換算差額等			少数株 主持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主資 本合計	その他 有価証 券評価 差額金	土地 再評価 差額金	評価・換 算差額 等合計		
前連結会計 年度末残高	15,221	8,576	52,663	248	76,212	7,009	2,452	9,461	3,137	88,811
第1四半期 連結会計期間 中の変動額										
剰余金の配当			443		443					443
役員賞与			31		31					31
四半期純利益			1,214		1,214					1,214
自己株式の処分		0		0	0					0
自己株式の取得				102	102					102
株主資本以外 の項目の当期 変動額(純額)						2,630		2,630	1	2,632
第1四半期連結 会計期間中の 変動額合計	-	0	740	102	638	2,630	-	2,630	1	1,994
第1四半期連結 会計期間末残高	15,221	8,576	53,403	351	76,850	4,378	2,452	6,831	3,135	86,817

## 比較四半期連結剰余金計算書

(単位:百万円)

科 目	当四半期 (平成 19 年 3 月期 第 1 四半期)(A)	前年同四半期 (平成 18 年 3 月期 第 1 四半期)(B)	比 較 (A) - (B)	( 参 考 ) 平成 18 年 3 月期
(資本剰余金の部)				
資本剰余金期首残高	-	8,575	-	8,575
資本剰余金増加高	-	-	-	0
自己株式処分差益	-	-	-	0
資本剰余金減少高	-	-	-	-
資本剰余金四半期末(期末)残高	-	8,575	-	8,576
(利益剰余金の部)				
利益剰余金期首残高	-	50,300	-	50,300
利益剰余金増加高	-	1,562	-	4,224
四半期(当期)純利益	-	1,562	-	4,224
利益剰余金減少高	-	476	-	1,862
配当金	-	445	-	890
役員賞与	-	31	-	31
自己株式消却額	-	-	-	884
自己株式処分差損	-	0	-	-
土地再評価差額金取崩額	-	-	-	57
利益剰余金四半期末(期末)残高	-	51,386	-	52,663

## 四半期財務情報作成のための基本となる事項

当行は、中間（連結）財務諸表等の作成基準をベースとしつつ、以下のとおり投資者等の利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で一定の簡便な手続きを採用しております。

なお、四半期財務情報に関する計数は、監査法人による監査を受けておりません。

### 〔簡便な手続きの内容〕

#### 1. 貸倒引当金の計上基準

当四半期末の貸倒引当金は、平成18年6月末の自己査定結果による債権残高を基準としておりますが、正常先・要注意先に係る一般貸倒引当金繰入率及び破綻懸念先に係る個別貸倒引当金繰入率については、平成18年3月期において適用した繰入率に基づき計上しております。

#### 2. 法人税等の計上基準

当四半期の税金費用は、法定実効税率をベースとした年間予測税率を基に算出しており、「法人税、住民税及び事業税」及び「法人税等調整額」の合計相当額を「税金費用」として四半期連結損益計算書に表示しております。

## 表示方法の変更

「銀行法施行規則」（昭和57年大蔵省令第10号）別紙様式が「無尽業法施行細則等の一部を改正する内閣府令」（平成18年4月28日付内閣府令第60号）により改正され、平成18年4月1日以後開始する事業年度から適用されることになったことに伴い、当四半期から以下のとおり表示を変更しております。

1. 「動産不動産」は「有形固定資産」、「無形固定資産」又は「その他資産」に区分して表示しております。
2. 「その他資産」に含めて表示していたソフトウェアは、「無形固定資産」に含めて表示しております。

## セグメント情報

### 1. 事業の種類別セグメント情報

（単位：百万円）

	銀行業務	リース業務	その他	計	消去又は全社	連結
経常収益	10,830	1,942	1,842	14,615	( 341)	14,273
経常費用	8,670	1,893	1,838	12,403	( 341)	12,061
経常利益	2,159	49	3	2,212	( 0)	2,212

（単位：百万円）

	銀行業務	リース業務	その他	計	消去又は全社	連結
経常収益	11,550	1,826	1,829	15,205	( 309)	14,896
経常費用	8,913	1,776	1,721	12,411	( 308)	12,103
経常利益	2,637	49	107	2,794	( 0)	2,793

（注）1. 業務区分は、連結会社の事業内容により区分しております。なお、「その他」はクレジットカード業務等であります。

2. 一般企業の売上高及び営業利益に代えて、それぞれ経常収益及び経常利益を記載しております。

### 2. 所在地別セグメント情報

当行は、在外支店及び在外子会社を有しておりませんので、所在地別セグメント情報は記載しておりません。

### 3. 国際業務経常収益

国際業務経常収益は、連結経常収益の10%未満のため記載を省略しております。

## 四半期情報

## 1. 平成18年度第1四半期 損益の状況(単体)

第1四半期の経常収益は107億円(中間期予想比48.3%)と若干計画を下回ったものの、コア業務純益は21億円(中間期予想比52.8%)と順調に推移しております。

経常利益は21億円(中間期予想比49.8%) また四半期純利益についても12億円(中間期予想比53.0%)計上し、当初計画通りに推移しております。

(単位:百万円)

	平成18年度 第1四半期 (3カ月累計) (A)	平成17年度 第1四半期 (3カ月累計) (B)	前年 同四半期比 (A)-(B)	平成18年度 中間期予想値 (6カ月累計)
経常収益	10,787	11,469	682	22,300
業務粗利益	9,047	9,589	542	
(除く国債等債券損益)(コア業務粗利益)	9,179	9,252	73	
資金利益	8,296	8,482	186	
役務取引等利益	832	741	91	
その他業務利益	81	365	446	
(うち国債等債券損益)	131	337	468	
経費(除く臨時処理分)	7,012	6,862	150	
人件費	3,196	3,260	64	
物件費	3,409	3,138	271	
税金	407	463	56	
コア業務純益	2,166	2,389	223	4,100
一般貸倒引当金繰入額	127	619	492	
業務純益	2,162	3,346	1,184	4,400
臨時損益	19	700	681	
うち株式等関係損益	41	42	83	
うち不良債権処理額	162	1,001	839	
(与信費用 + )	34	381	347	
経常利益	2,143	2,646	503	4,300
特別損益	59	0	59	
税引前四半期純利益	2,083	2,646	563	
税金費用	864	1,095	231	
四半期(中間)純利益	1,219	1,551	332	2,300

(注) コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益

## 2. 金融再生法開示債権（単体）

金融再生法ベースの開示債権額は、18年3月末比4億円減少して746億円となりました。

	平成18年6月末		平成18年3月末
		平成18年3月末比	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	146	5	141
危険債権	407	8	415
要管理債権	193	2	195
小計（A）	746	4	750
正常債権	12,324	900	13,224
合計（B）	13,070	905	13,975
開示債権比率（A）／（B）	5.70%	0.34%	5.36%

- （注）1．記載金額は単位未満を四捨五入して表示しております。  
 2．上記の平成18年6月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類し、当行の定める自己査定基準に基づいた同年6月末現在における債務者区分による残高であります。  
 また、上記計数は、部分直接償却相当額を直接減額した後の残高を記載しております。  
 債務者区分との関係  
 破産更生債権及びこれらに準ずる債権・・・実質破綻先、破綻先の債権  
 危険債権・・・破綻懸念先の債権  
 要管理債権・・・要注意先のうち、元本又は利息の支払いが3カ月以上延滞しているか、又は貸出条件を緩和している債権

## 3. 自己資本比率（国内基準）

平成18年9月末の連結自己資本比率は、劣後特約付社債の発行等により前連結会計年度末比約2%上昇の12.2%程度を予想しております。また、連結Tier比率は8.4%程度を予想しております。

	（参考）	
	平成18年9月末(予想値)	平成18年3月末(実績)
連結自己資本比率	12.2%程度	10.17%
連結Tier比率	8.4%程度	8.40%

（注）上記予想値は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。

## 4. 時価のある有価証券の評価差額（単体）

その他有価証券の評価差額は、18年3月末比45億円減少して、73億円の評価益となりました。

（単位：億円）

	平成18年6月末			
	時価	評価差額	うち	
			益	損
その他有価証券	5,607	73	163	89
株式	512	149	155	6
債券	4,503	64	5	70
その他	591	10	3	13

（参考）（単位：億円）

平成18年3月末			
時価	評価差額	うち	
		益	損
5,507	118	199	80
524	180	184	3
4,423	57	8	66
559	4	6	10

（注）満期保有目的の債券に係る含み損益は以下のとおりであります。また、子会社・関連会社株式で時価のあるものは該当ありません。

（単位：億円）

	平成18年6月末			
	帳簿価額	含み損益	うち	
			益	損
満期保有目的の債券	390	2	0	3

（参考）（単位：億円）

平成18年3月末			
帳簿価額	含み損益	うち	
		益	損
388	2	0	2

## 5. デリバティブ取引（単体）

(1) 金利関連取引  
該当ありません。

(2) 通貨関連取引

（単位：億円）

区分	種類	平成18年6月末		
		契約額等	時価	評価損益
店頭	通貨スワップ 為替予約	0	0	0

（参考）（単位：億円）

平成18年3月末		
契約額等	時価	評価損益
0	0	0

（注）ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

(3) 株式関連取引  
該当ありません。

(4) 債券関連取引  
該当ありません。

(5) 商品関連取引  
該当ありません。

(6) クレジットデリバティブ取引  
該当ありません。



## 6. 預金、貸出金等の残高(単体)

預金等残高は、前年同月比192億円(0.9%)減少し、2兆93億円となりました。一方預り資産残高は、お客様の多様な資金運用ニーズにお応えするため投資信託や公共債等の金融商品の販売を強化したこと等により、前年同月比423億円(53.0%)の増加と順調に推移しております。

貸出金残高は、住宅ローンを中心に個人ローンは堅調に推移しましたが、一般法人向け貸出が減少したことから、前年同月比43億円(0.3%)減少し、1兆2,710億円となりました。

## (1) 預金・貸出金の残高

(単位:億円)

	平成18年6月末	
		前年同月比
預金等(末残)	20,093	192
うち個人預金	13,839	23
貸出金(末残)	12,710	43
うち個人ローン	3,337	29
うち住宅ローン	2,894	51

(注) 預金等 = 預金 + 譲渡性預金

(参考)

(単位:億円)

	平成18年3月末	平成17年6月末
預金等(末残)	19,845	20,285
うち個人預金	13,640	13,862
貸出金(末残)	13,604	12,753
うち個人ローン	3,326	3,308
うち住宅ローン	2,877	2,843

## (2) 預り資産の残高

(単位:億円)

	平成18年6月末	
		前年同月比
投資信託	368	213
公共債	652	152
個人年金保険	199	58
合計	1,220	423

(参考)

(単位:億円)

	平成18年3月末	平成17年6月末
投資信託	316	155
公共債	599	500
個人年金保険	186	141
合計	1,101	797

以 上